

分野	施策の柱	施策	施策の内容	重点テーマ			No.	個別施策	重点テーマとの関係	目標	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	指標となる数値、単位	担当課		
				重点1 「環境市民」 が活躍する 地域づくり	重点2 自然環境が 有する機能・ 魅力の活用	重点3 脱炭素社会・ 循環型社会 の形成によ る持続可能 な社会													
1 安全な生活環境を確保します(生活環境分野)	1-1 大気環境・水環境を保全します	1 大気環境の保全対策の促進	② 大気汚染状況の監視測定等の実施			○	2	大気汚染状況の監視測定等の実施	【重点3】 光化学スモッグの発生は、窒素酸化物などの汚染物質濃度のほか、気温などの気象条件と密接な関係があります。気象の観測や大気汚染の常時監視を行い、情報発信することにより、健康被害を防止します。	目標	80%	81%	81%	81%	81%	大気汚染に係る環境基準達成率	環境保全課		
2 自然環境を保全・再生します(自然環境分野)	2-1 生物多様性を保全します	1 生物多様性の保全対策の推進	① 野生生物の情報収集、生物多様性の保全策の推進			○	17	生物多様性の保全に向けた取り組みの推進	【重点2】 市民団体等との協働による生物多様性の保全に向けた取り組みを推進します。	目標	アクションプランの策定	生物多様性の保全活動	生物多様性の保全活動	生物多様性の保全活動	生物多様性の保全活動	アクションプランの策定及び地域の特性に応じた生物多様性の保全	環境保全課		
			③ 野生生物への理解の促進			○	21	自然についての観察会等の実施	【重点2】 自然に関する講座や体験学習、自然観察などの行事を開催することで、市民の野生生物への理解を高め、人と自然との共生の推進を図ります。	目標	60人	60人	60人	60人	60人	参加人数	環境政策課 博物館		
	2-2 里山を保全・再生します	1 里山の保全・再生とふれあいの推進	② 市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進	○		○	26	市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進	【重点1】 市民参加による里山保全活動を行うことで、環境市民による保全活動の促進につなげます。 【重点2】 古くから人が生活に利用してきた雑木林や、人が開いた農地が一体となった場所が里山です。里山を保全していくことで、自然と共生し自然の恵みを活かしていきます。	目標	7回 70人	8回 100人	8回 100人	8回 100人	8回 100人	里山保全活動の活動回数・参加人数	環境保全課		
	2-4 農地を保全・活用します	1 農業の活性化、農業とのふれあいの推進	② 農業とのふれあいの促進(都市農業理解の促進)		○		○	45	市民農園の利用促進	【重点1】 自然志向を背景に、農業体験に対する都市住民の関心が高まり、余暇活動としてだけでなく、子どもの教育面からも、自然や土とのふれあいを求め、市民農園を利用する人々が増えています。このことから、市民農園の利用を促進していきます。 【重点2】 市民農園として自然の恵みを活用します。	目標	97%	97%	97%	97%	97%	市民農園の利用率	農水産課	
							○	46	農業理解の促進	【重点2】 地産地消の推進イベントを開催し、地元の農産物等への理解を高めるとともに、農業の魅力を活かしていきます。 【重点3】 地域で採れた農産物を使用することで、輸送によるガソリン等の燃料の削減、保存のための冷蔵冷凍に使用する電気使用量の削減等につながります。	目標	65,000人	75,000人	85,000人	95,000人	105,000人	地産地消イベント来場者数(SNS等を活用した農業PR対象者含む):累計	農水産課	
3 快適な都市環境を保全・創造します(都市環境分野)	3-1 うるおいとやすらぎのあるまちをつくります	1 みどりのネットワークの形成	② みどりのつながりの確保	○		○	55	花とみどりのまちづくりの推進	【重点1】 公園、広場、公民館へ花苗を配布し、環境市民による花と緑のまちづくりを促進します。 【重点2】 みどりのネットワークの形成を進めることで、花と緑に親しめるまちづくりを進めます。	目標	40箇所	40箇所	40箇所	40箇所	40箇所	花苗の配布箇所数	みどり公園・水辺課		
			3 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進	① 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進	○		○	68	花の名所づくり	【重点1】 花の名所づくりに市民参加により取り組みます。 【重点2】 花の名所の魅力を活かすとともに、市民が自然に親しめる場をつくります。	目標	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所	花の名所箇所数	みどり公園・水辺課	
	3-2 環境共生型のまちをつくります	1 環境共生モデル都市の形成	① ツインシティの形成に向けた取組の推進				○	72	土地区画整理組合による土地区画整理事業並びに地域住民と連携したまちづくりの推進	【重点3】 ネット・ゼロエネルギー・ハウス(ZEH)など、省エネ性能の高い住宅や再生可能エネルギー、家庭用燃料電池等の導入誘導により、環境共生のモデルとなる低炭素のまちづくりを促進します。	目標	80%	90%	100%	-	-	土地区画整理事業の進捗率	都市整備課	
			2 交通の円滑化の推進	② 自転車の利用しやすいまちづくり				○	79	自転車通行帯の整備	【重点3】 自転車は温室効果ガスを排出せず、化石燃料を使用しない交通手段であるため、自転車のネットワーク整備率を向上させ、自転車の走行環境の改善を図ることで自転車の利用を促進します。また、交通の安全性向上にもつながります。	目標	61%	70%	79%	88%	97%	平塚駅3km圏の自転車ネットワーク整備率	道路整備課 交通政策課
	3-3 気候変動に適應したまちをつくります	1 ヒートアイランド対策の推進	① ヒートアイランド対策の推進		○		○	85	クール・タウンの普及啓発の実施	【重点1】 住宅等へのみどりのカーテンの設置の取組が、市民に広がるよう、PRをしていきます。 【重点3】 建物の壁面温度の上昇を抑えることで、冷房機器の電気の節減による温室効果ガスの排出削減や、「適応策」として、ヒートアイランド現象の進行を抑制します。	目標	33件	34件	36件	38件	40件	みどりのカーテンコンテスト応募者数 応募件数(個人・団体)	環境政策課	
				2 風水害対策の強化	① 防災対策の推進				○	86	防災意識の向上	【重点3】 気候変動によって引き起こされる様々な影響に備えるため、防災意識を高めます。	目標	155,000回	190,000回	225,000回	260,000回	295,000回	防災啓発動画再生回数
3 熱中症対策の推進				① 熱中症対策の推進				○	91	熱中症予防への意識啓発	【重点3】 熱中症など健康被害に対して予防することへの意識を高めます。	目標	50人	65人	80人	95人	110人	熱中症対策講習会参加職員数(関係機関職員含む):累計	健康課 事業担当課

分野	施策の柱	施策	施策の内容	重点テーマ			No.	個別施策	重点テーマとの関係	目標	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	指標となる数値、単位	担当課	
				重点1 「環境市民」 が活躍する 地域づくり	重点2 自然環境が 有する機能・ 魅力の活用	重点3 脱炭素社会・ 循環型社会 の形成による 持続可能な 社会												
4 地球環境保全へ貢献します (地球環境分野)	4-1 脱炭素社会の実現に向けて取り組みます	1 脱炭素社会に対応するライフスタイルの普及促進	① 脱炭素社会に対応するライフスタイルの普及促進	○		○	92	日常生活における環境への配慮の取組の促進	【重点1】 ひらつかCO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> プラン等、日常生活における環境配慮に関する情報の提供や、取組の呼びかけを行い、環境市民による環境配慮行動の意識を高めます。 【重点3】 日常生活において温暖化の原因である温室効果ガスを削減する環境配慮行動を促進することは、脱炭素社会の実現につながります。	目標	45%	46%	47%	48%	49%	コソコソプランの小中学生の参加者の割合	環境政策課	
			② 一般家庭や事業者への再生可能エネルギーや高効率な省エネルギー機器等の導入促進			○	98	高機能住宅の普及促進	【重点3】 一般家庭に環境性能の高い建築物や蓄電システムを普及させ、脱炭素社会に寄与します。	目標	30件	40件	50件	60件	70件	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)の補助件数・累計	環境政策課	
			③ 事業者のCO <sub>2</sub> 削減につながる設備投資支援			○	99	事業者のCO <sub>2</sub> 削減につながる設備投資支援	【重点3】 市内事業者に省エネルギー型設備等を普及させることで、脱炭素社会に寄与します。	目標	32件	32件	32件	32件	32件	脱炭素化及び生産性の向上に係る設備導入の支援件数	産業振興課	
			④ 市の事業活動における環境への配慮			○	118	公共施設における環境に配慮した電力調達契約の推進	【重点3】 公共施設にカーボンフリーのエネルギーを調達することで、脱炭素社会に寄与します。	目標	30%	30%	40%	40%	50%	消費電力に対するカーボンフリーのエネルギー調達の割合	環境政策課	
	4-2 循環型社会の実現に向けて取り組みます	1 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	① 廃棄物の発生抑制の推進			○	119	ごみの減量化・資源化に向けた普及啓発	【重点3】 ごみの減量化・資源化を進め、ごみの焼却量を減らすことで温室効果ガスの排出削減に寄与します。	目標	861g	861g	856g	849g	843g	市民一人一日当たりのごみ排出量	環境政策課	
			② 廃棄物の資源化・適正処理の推進			○	127	ごみの排出ルールの徹底や指導	【重点3】 地球にやさしい社会の実現のため、資源の再生利用などを進めることにより、限りある資源を保全します。	目標	27.9%	28.3%	28.9%	29.5%	30.0%	ごみの資源化率	環境政策課 収集業務課 環境施設課	
	5 市民・事業者等による環境保全活動を促進します (環境保全活動等)	5-1 環境教育・環境学習を推進します	1 幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実	① 幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校での環境学習の推進	○		○	136	わかば環境ISOの推進	【重点1】 わかば環境ISOに学校、園ぐるみで取り組むことが、環境配慮行動を実践できる「環境市民」の育成につながります。 【重点3】 わかば環境ISOは、取組の共通メニューとして「省資源」「省エネ」「ごみの減量化」に取り組んでおり、温室効果ガスの排出削減や資源の再利用などに寄与します。	目標	57校・園	57校・園	58校・園	58校・園	58校・園	参加校・園数	教育総務課 教育指導課 環境政策課
				② 幅広い年齢層を対象にした環境学習の推進	○	○	○	146	市民活動団体等と連携した出前講座等の実施	【重点1】 出前講座を市民活動団体等と連携して行うことで、団体の活動の場を広げることになるとともに、市民の環境に対する理解の向上や、今後の市民活動等を担う人材育成につなげます。 【重点2、3】 自然環境や地球環境の保全に関する講座を提供することで、市民の環境に対する理解を深め、市民一人一人の環境配慮行動につなげます。	目標	15回	15回	15回	16回	16回	講座開催回数	環境政策課
③ ひらつか環境フェアの実施				○	○	○	147	ひらつか環境フェアの実施	【重点1】 団体等と連携し、市民が実体験を通して、環境問題を考えることができるよう、幅広い年齢層を対象とした環境教育を広く進めます。 【重点2、3】 地球環境やごみ問題など、環境に関する情報を、分かりやすく伝え、市民一人一人の環境配慮行動につなげます。	目標	150人	500人	600人	700人	1000人	参加者数	環境政策課	
5-2 市民等の取組や連携を支援します		1 市民活動や企業の取組に対する支援	③ 環境保全団体のネットワークづくりの促進	○	○	○	153	ひらつか環境ファンクラブの活動の促進	【重点1】 市民活動団体等の活動促進により、市民による環境配慮活動の活性化を図るとともに、団体等の活動発表の場を作ることで、広く市民への周知を行います。 【重点2、3】 自然環境や地球環境の保全に関する活動等を行っている市民活動団体の活動促進は、自然環境の活用や低炭素社会、循環型社会の実現といった重点テーマの推進につながります。	目標	団体会員 30団体	団体会員 30団体	団体会員 31団体	団体会員 31団体	団体会員 32団体	ひらつか環境ファンクラブ 団体会員数	環境政策課	